



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 チヨダ
 コード番号 8185 URL <http://www.chivodagr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 舟橋 浩司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 成田 裕

TEL 03-3316-4134

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	39,297	△2.3	4,141	△2.3	4,255	△4.1	2,221	△7.6
25年2月期第1四半期	40,237	2.4	4,238	36.8	4,437	37.3	2,404	389.4

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 2,939百万円 (25.1%) 25年2月期第1四半期 2,350百万円 (1,118.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	56.25	56.12
25年2月期第1四半期	60.53	60.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	133,851	80,044	55.1	1,866.16
25年2月期	132,868	78,658	54.4	1,831.05

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 73,694百万円 25年2月期 72,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	25.00	—	35.00	60.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,689	0.8	6,903	7.7	7,103	4.1	3,803	0.2	96.32
通期	153,164	1.9	13,258	7.7	13,846	5.6	7,169	0.3	181.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	41,609,996 株	25年2月期	41,609,996 株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	2,120,107 株	25年2月期	2,126,267 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	39,486,826 株	25年2月期1Q	39,720,759 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成26年2月期の個別業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	56,545	1.2	6,020	7.2	3,616	9.7	91	58
通期	110,500	2.0	11,000	8.4	6,500	14.8	164	62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 個別経営成績(累計)	9
(2) 個別財政状態	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、経済政策に対する期待感と円高是正により輸出企業を中心とした株価の上昇や企業収益の回復が見受けられましたが、海外景気の下振れがリスクとなり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況は、当社グループが属する内需依存型産業の小売業にとって厳しい環境と言わざるを得ません。その上、この春は寒暖の差が激しく天候不順等もあり、当第1四半期連結累計期間の売上は減収となりました。

利益面におきましては、P B（プライベートブランド）及びN P B（ナショナルプライベートブランド）戦略の推進による粗利益率の改革、販管費の抑制、慎重な出店戦略の推進などに取り組みましたが、前年同期と比較して微減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の出退店は、出店30店、退店5店を実施し、当第1四半期連結会計期間末店舗数は、靴事業1,158店（前年同期比22店増）、衣料品事業486店（同7店増）の合計1,644店（同29店増）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高39,297百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益4,141百万円（同2.3%減）、経常利益4,255百万円（同4.1%減）、四半期純利益2,221百万円（同7.6%減）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

<靴事業>

当第1四半期連結累計期間における靴事業の売上高は、日照時間には恵まれましたが4月に東日本を中心に季節外れの大雪に見舞われるなど、寒暖の差が激しく季節品等の売上が振るわず減収となりました。

商品面におきましては、お客様のニーズに応えられるようにP B機能性アイテムの商品開発を引き続き行ってきました。紳士靴部門「ハイドロテック」シリーズでは軽量ビジネスシューズや、疲れを軽減させるカジュアルシューズが好調に推移し、婦人靴部門ではOL向け「セダークレスト キャリアビュート」に防水機能を備えたパンプスを新しく販売し好評でした。また、学生向けの洗えるローファー「セダークレスト ウォッシュャブル」が売上を伸ばしました。スニーカー部門では「セダークレスト」シリーズの「ダブルフェイス」「ランニング」などが牽引いたしました。サンダル部門では5月上旬まで続いた寒気の影響もあり、前年同期の売上を下回りました。

販売施策におきましては、「ハイドロテック」シリーズのTVCMを実施、女性向けのフリーマガジン「Shutte（シュッテ）」第3号の発行、靴と健康のライフスタイル情報誌「ゆうほら（悠歩楽）」の創刊、モバイル会員（360万人）への機動的な情報発信・来店施策など積極的に実施しました。この結果、P B及びN P B等のシェアは前年同期と比較して6ポイント増の約41%となりました。

粗利益率は、P B及びN P B等のシェアの増加もあり、前年同期と比較して上昇いたしました。経費面では、新店の増加により経費全般が前年同期と比較して微増いたしました。計画通りに推移いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の靴事業の営業利益は、前年同期と比較して微減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の出退店は、出店18店、退店3店を実施し、当第1四半期連結会計期間末店舗数は1,158店（前年同期比22店増）となりました。

この結果、売上高は29,914百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

<衣料品事業>

当第1四半期連結累計期間における衣料品事業の売上高は、4月中旬から5月上旬にかけて寒気の影響で全国的に低温になるなど寒暖の差が大きく、衣料品の消費に影響を及ぼしたことにより、前年同期の売上を確保するに至らず減収となりました。

商品面におきましては、昨年秋より英国ジーンズブランド「リークーパー」の独占販売を本格的に展開しております。また、話題性のある商品開発の実施やお客様の声を商品開発に取り入れるなど、お客様のニーズに応える品揃えに注力いたしました。更に、P B強化策として「ネイビー」をリニューアルし、価値のある低価格ベーシックの商品開発を進めております。

販売施策におきましては、「ナノプラチナデニム」のTVCMの実施、フリーマガジン「nana STYLE」第8号の発行、モバイル会員（100万人突破）への情報発信など継続的に販売促進策を実施いたしました。

粗利益率は、P B及びN P Bのシェアが前年同期と比較して12ポイント増の約50%に達したことにより上昇いたしました。経費面では、販管費コントロールに注力いたしました結果、減少したものの、当第1四半期連結累計期間の衣料品事業の営業利益は704百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の出退店は、出店12店、退店2店を実施し、当第1四半期連結会計期間末店舗数は486店（前年同期比7店増）となりました。

この結果、売上高は9,383百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、133,851百万円（前連結会計年度末比983百万円増）となりました。

流動資産は、87,075百万円（前連結会計年度末比481百万円増）となっております。これは、主として現金及び預金が49,633百万円（前連結会計年度末比5,379百万円減）、受取手形及び売掛金が3,258百万円（同1,454百万円増）、商品が31,922百万円（同4,503百万円増）となったことによるものであります。

固定資産は、46,776百万円（前連結会計年度末比502百万円増）となっております。これは、主として投資有価証券が6,626百万円（前連結会計年度末比972百万円増）となったこと、繰延税金資産が3,466百万円（同397百万円減）となったことによるものであります。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、53,807百万円（前連結会計年度末比402百万円減）となりました。

流動負債は、39,024百万円（前連結会計年度末比77百万円減）となっております。これは、主として支払手形及び買掛金が27,244百万円（前連結会計年度末比1,674百万円増）となったこと、未払法人税等が1,620百万円（同1,957百万円減）となったことによるものであります。

固定負債は、14,783百万円（前連結会計年度末比324百万円減）となっております。これは、主として長期借入金が1,415百万円（前連結会計年度末比203百万円減）、長期リース資産減損勘定が271百万円（同46百万円減）、その他が780百万円（同71百万円減）となったことによるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、80,044百万円（前連結会計年度末比1,385百万円増）となりました。これは、主として利益剰余金が60,963百万円（前連結会計年度末比837百万円増）となったことによるものであります。自己資本比率は55.1%（前連結会計年度末比0.7ポイント増）となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年4月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,013	49,633
受取手形及び売掛金	1,803	3,258
商品	27,419	31,922
繰延税金資産	828	767
その他	1,542	1,505
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	86,594	87,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,886	5,123
工具、器具及び備品(純額)	525	556
土地	4,352	4,352
リース資産(純額)	477	507
その他(純額)	67	7
有形固定資産合計	10,308	10,546
無形固定資産		
投資その他の資産	3,633	3,624
投資有価証券	5,653	6,626
敷金及び保証金	18,354	18,238
繰延税金資産	3,863	3,466
その他	4,586	4,395
貸倒引当金	△126	△120
投資その他の資産合計	32,331	32,605
固定資産合計	46,274	46,776
資産合計	132,868	133,851
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,569	27,244
ファクタリング債務	2,810	2,011
短期借入金	740	740
1年内返済予定の長期借入金	977	982
リース債務	238	250
未払法人税等	3,577	1,620
未払消費税等	325	305
賞与引当金	605	1,070
店舗閉鎖損失引当金	52	64
リース資産減損勘定	267	232
資産除去債務	24	35
その他	3,913	4,465
流動負債合計	39,102	39,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
固定負債		
長期借入金	1,619	1,415
リース債務	321	340
繰延税金負債	40	41
退職給付引当金	8,582	8,599
役員退職慰労引当金	6	6
転貸損失引当金	473	438
長期預り保証金	772	744
長期リース資産減損勘定	317	271
資産除去債務	2,122	2,144
その他	851	780
固定負債合計	15,107	14,783
負債合計		
	54,209	53,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,486
利益剰余金	60,126	60,963
自己株式	△3,528	△3,518
株主資本合計	70,980	71,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,315	1,868
その他の包括利益累計額合計	1,315	1,868
新株予約権	97	82
少数株主持分	6,264	6,267
純資産合計	78,658	80,044
負債純資産合計	132,868	133,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	40,237	39,297
売上原価	20,390	19,476
売上総利益	19,847	19,821
販売費及び一般管理費	15,608	15,679
営業利益	4,238	4,141
営業外収益		
受取利息	24	22
受取配当金	6	8
受取家賃	321	280
その他	173	143
営業外収益合計	524	454
営業外費用		
支払利息	13	11
不動産賃貸費用	293	254
転貸損失引当金繰入額	16	—
その他	3	75
営業外費用合計	325	340
経常利益	4,437	4,255
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	46	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	7	0
負ののれん発生益	60	—
その他	5	4
特別利益合計	121	4
特別損失		
固定資産除却損	9	10
投資有価証券売却損	2	—
減損損失	98	88
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	27
その他	23	6
特別損失合計	133	133
税金等調整前四半期純利益	4,425	4,127

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
法人税、住民税及び事業税	1,681	1,580
法人税等調整額	128	160
法人税等合計	1,810	1,740
少数株主損益調整前四半期純利益	2,614	2,386
少数株主利益	210	165
四半期純利益	2,404	2,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,614	2,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△264	552
その他の包括利益合計	△264	552
四半期包括利益	2,350	2,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,139	2,773
少数株主に係る四半期包括利益	210	165

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

平成26年2月期第1四半期の個別業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 個別経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	28,983	△2.0	3,371	3.0	3,811	7.8	2,331	14.2
25年2月期第1四半期	29,583	2.4	3,272	27.5	3,534	32.4	2,041	227.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第1四半期	59	03	58	91
25年2月期第1四半期	51	39	51	33

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
26年2月期第1四半期	101,927	64,372	64,372	64,372	63.1	
25年2月期	99,263	62,871	62,871	62,871	63.3	

(注) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。